

2016年7月22日

日本ユニシス・エクセリューションズ 3次元統合 CAD/CAM システム「CADmeister®」の新バージョン V11.0 を提供開始 — お客さまの声を反映し、「習得の速さ」「ストレスの軽減」「手戻りの削減」を目指して操作性を向上 —

日本ユニシス・エクセリューションズ株式会社（本社：東京都江東区、社長：今村 康、以下 UEL）は、3次元統合 CAD/CAM システム「CADmeister（キャドマイスター）」の新バージョン V11.0 を2016年7月下旬から販売開始します。

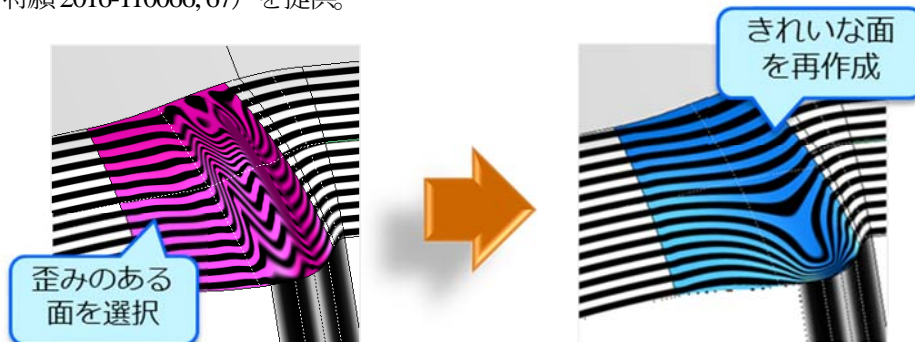
「CADmeister」は2005年7月に販売を開始し、これまでに国産唯一の3次元統合 CAD/CAM システムとして金型メーカーを中心に1,000社以上で採用されてきました。

今回リリースする V11.0 では、操作性の改善を中心に CAD 基本機能であるモデリング機能から金型設計支援機能、そして CAM 機能を強化しています。また、CADmeister を同時に2つまで起動させることで別のデータを参照しながら新たな設計を行うことや、面要素選択時にプリセレクト（選択）された部分をシェーディング^{（注1）}表示することで視認性を上げるなど、多くの操作性の向上を実現しています。

「CADmeister V11.0」で強化された主な機能は以下の通りです。

<モデリング機能>

- フィレット^{（注2）}合流部などのシワや折れが生じた部分を整形する、フィレット面整形機能（特許出願済、特願2016-110066,67）を提供。



- STL^{（注3）}と立体の集合演算機能や、STL を曲面でトリムする機能を含め多くの STL 編集機能を改善。

<金型設計支援機能>

- 樹脂金型向けに水管回路ライン作成機能や樹脂の流動解析と連携した冷却解析、プレス金型設計向けに見込み機能強化やダイ・レイアウト時の余肉面作成機能などを強化。

<CAM 機能>

- スキャン（走査線）加工における複数加工領域指示の機能拡張や等高加工の工程作成の自動化、等高加工の接近離脱動作で経路をオーバーラップさせることで、アプローチ位置でのカッターマークを抑える機能などを強化。
- 3D プロファイル加工では、切削体積に応じて加工の送り速度を自動調整する加工負荷減速機能により、3D プロファイルの無人加工を実現。

UEL は今回の「CADmeister V11.0」販売において、既に CADmeister を導入しているお客さまを含め、今後 1 年間で約 5,000 ライセンスの出荷、約 36 億円の売上を見込んでいます。

UEL は、今後も業界動向やお客さまの声を反映しながら「CADmeister」の機能強化を積極的に実施し、金型業界、お客さまの国際競争力の維持拡大、設計／生産業務のさらなる効率化に貢献していきます。

以上

注1：シェーディング

面・立体に色、陰影、材質感を付ける表示手法です。点灯された光源の数・種類・位置・方向などの設定、および面・立体の表面反射属性により表示結果が調整されます。

注2：フィレット

形状の角を丸めることです。

注3：STL

STL (Stereo Lithography) は、光造形分野の標準フォーマットです。ソリッドデータをテキストまたはバイナリで STL 形式に変換できます。

*CADmeister は、日本ユニシス・エクセリューションズ株式会社の登録商標です。

*その他記載の会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

■関連 URL

3次元統合 CAD/CAM システム「CADmeister」：<http://www.excel.co.jp/cadmeister/index.shtml>

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。